

島しょ町村における保健医療人材の確保定着支援

島しょ保健医療圏

実施年度	開始 平成22年度、 終了（予定） 平成24年度
背景	<p>○島しょ町村では、恒常的に保健医療従事者（特に保健師・看護師）の確保が困難な状況にある。そのため、島しょ保健所にも、保健医療従事者の確保に向けた支援要望が寄せられている。</p> <p>○また、平成21年1月に三宅村村長から福祉保健局長に対し、「保健師」の確保定着に向けた支援の要請もあり、平成21年度課題別推進プラン事業「島しょ町村における保健師の確保定着支援」を取り上げ、具体的な支援にむけた検討をすすめた。</p> <p>○その後、島しょ町村の「看護師」の確保定着についても取組むよう要請があり、平成22年度より課題別推進プラン事業「島しょ町村における保健医療人材の確保定着支援」を3年間で実施することとした。</p>
目標	島しょ町村における保健医療従事者の確保定着策にむけ、具体的な事業検討を行うとともに町村との事業連携をもつて町村支援を進めていく。
事業内容	<p>【取組内容】</p> <p>1 島しょ町村における保健師・看護師確保定着のための具体策を実施</p> <p>【実績】</p> <p>1 確保対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 島しょ町村の採用担当者から保健師・看護師の求人の取組みに関するヒヤリング調査を実施 ② 「保健師・看護師の求人情報発信ガイドブック」を作成し島しょ町村等に配布 ③ ポスター、チラシ、のぼり旗を作成し首都圏の看護大学、関係機関等に配布 ④ 島しょ保健所のホームページを見直し掲載内容を検討 ⑤ 福祉保健局退職者説明会において島しょ町村の活動を紹介 ⑥ 保健学部学生の現地活動体験とアンケートの実施 <p>2 定着対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 町立八丈病院にて看護師を対象とした職場サポート研修を実施 ② 都退職保健師会において島しょ町村の活動を紹介
評価	<p>1. 確保対策として実施した9町村 18機関（町村役場、町立病院、診療所）への求人の取組みに関するヒヤリング調査からは、専門職の確保に関するノウハウの蓄積がないことが明らかになった。そこで、求人担当者の手助けとして「保健師・看護師の求人情報発信ガイドブック」の提供や多くの人が集まる場所等へののぼり旗の掲示、関係機関等へのポスターの配布など着実に事業推進することができた。さらに、島しょの魅力を発信できるホームページの内容の改良を検討しており、より一層の効果的支援ができつつある。</p> <p>2. 定着対策としての職場サポート研修では、誰でも参加しやすい時間帯を意識し、外部講師を交えた島内での研修を実施することで、地域医療に携わる看護関係者のモチベーションにつながる有意義な活動支援が可能となった。</p>
問い合わせ先	<p>島しょ保健所 総務課 高橋（貴） 電 話 03-5320-4342 ファクシミリ 03-5388-1428 E-mail S0000324@section.metro.tokyo.jp</p>

島しょ地域における保健医療従事者確保定着支援について

～ 平成22年度から平成24年度まで(3ヵ年) ～

経緯

- 平成21年1月
三宅村平野村長が、安藤福祉保健局長に保健師の確保定着に向けた都の支援を要請
「かねてより、早期退職などにより保健師の定着が悪く、帰島した村民への保健サービスの充実を図りたい」
- 島しょ保健所での検討が指示され、島しょ地域における保健医療従事者確保定着支援PTを発足

PTメンバー及びスケジュール

- 島しょ保健所（所長 副所長 保健師 事務）、杏林大学教授（保健師）、保健政策部等13名
- 定例の副所長連絡会に併せて、年4回開催

これまでの取組み

- 島しょで3年以上勤務している保健師へのアンケート調査の実施
 - 島しょ町村で働く保健師のための業務マニュアルを作成
 - 島しょ町村での保健師活動を紹介したリーフレットの作成・配布
 - 島しょ保健所ホームページ上に町村からの保健医療情報を持続
- 取組みで判ったこと
- ・ 安定的に確保定着できている町村と、そうでない町村とがある
 - ・ 育成するための組織的な取り組みがなされていない
 - ・ 島しょ町村に就職後、早期に退職するものが多く、突然退職することもある
 - ・ 欠員が生じた際に、専門職を確保するためのノウハウの蓄積がない

島しょ地域保健医療協議会（※）に報告

■ 平成21年12月

保健師の確保定着に向けたPTの取組状況を報告
町村長からは、看護師の確保定着についても資料を加えて欲しいとの要望

※ 島しょ地域保健医療協議会

- 構成員 島しょ地域の2町7村の町村長ら、26名
- 開催 年1回
- 会長 石館 敬三 東京都結核予防会理事長

平成22年度からの取組み

- これまでのPTを母体に、島しょ地域における保健医療従事者確保定着支援PTを設置
- メンバーやは、構成員として医療政策部の追加等強化、13名。スケジュールは、ほぼ同様。
- 22年度から24年度までの3ヵ年の取組

■ 22年度(1年目) 具体的な確保対策、定着対策の検討

○確保対策

- ・保健師 ①保健師募集DVDの作成
②保健師学生の現地体験受入の検討
- ・看護師 ①都県職看護師への島しょ町村での募集情報の提供
②看護師募集のための島しょ町村ホームページの作成支援
③募集のぼり旗の作成

○定着対策 職場サポート研修の実施

■ 23年度(2年目) 具体的な確保対策、定着対策の実施

○確保対策

- ①各町村の求人の取組みに関するヒヤリング調査と意見交換を実施
- ②「保健師・看護師の求人情報発信ガイドブック」を作成し採用担当者に配布
- ③ポスター・チラシ・のぼり旗を作成し首都圏の看護大学、関係機関等に配布
- ④島しょ保健所ホームページの見直し検討中（ログ風）
- ⑤福祉保健局退職者説明会において島の活動を紹介
- ⑥看護学部学生（4名）の現地活動体験及びアンケートの実施

○定着対策

- ①八丈島町立病院にて職場サポート研修を実施
②都退職保健師に島の活動を紹介

■ 24年度(3年目) 具体的な確保対策、定着対策の継続

○確保対策

- ①「保健師・看護師の求人情報発信ガイドブック」の更新と配布
- ②全国の島しょ町村の保健師確保状況調査
- ③広報活動（ポスター・チラシ・のぼり旗）の拡大
- ④島しょ保健所ホームページの充実

○定着対策

- ①三宅村にて職場サポート研修
- ②島しょ保健師連絡会の開催増にあわせて保健師定着支援研修を実施
- ③町村保健師活動のサポート体制の検討

のぼり旗

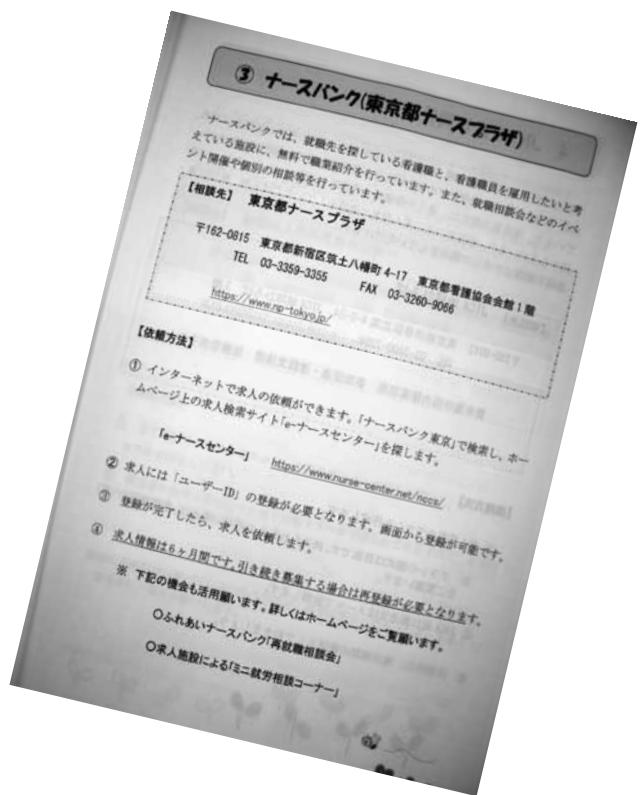


アンテナショップ「東京愛らんど」
竹芝客船ターミナル内

ポスター



ガイドブック



福祉保健局ミニ通信

第374号 2012.03.22
～東京都福祉保健局 作成～

☆ハ丈島で「保健医療従事者の定着支援研修」を実施しました

3月12日、島しょ保健所ハ丈出張所では、「地域医療の楽しさ再発見～魅力ある職場を目指して」という標題で、保健医療従事者の定着支援研修をハ丈町立病院との共催で実施しました。島しょ地域の各町村では、保健師や看護師などの保健医療従事者の安定的な確保・定着が困難な状況が続いているため、各町村長などからは島しょ保健所に対しても、保健医療従事者の確保・定着に向けたより一層の支援が求められていました。

このため島しょ保健所では、一昨年度から課題別推進プランの一つとして「島しょ地域における保健医療従事者の確保・定着支援」に取り組んでおり、その一環として今回の研修を実施しました。



講師には東京都ナースプラザの栗原良子氏をお迎えし、ハ丈町立病院での勤務経験が1年未満の方から10年以上の方まで14名の看護師が参加しました。

冒頭、梶山純一島しょ保健所長から、「ハ丈島で頑張っている看護師一人ひとりが、より元気になれるような研修にしたい」との挨拶があり、研修がスタートしました。

講師の栗原良子氏は、これまでにも都内各地の医療機関の看護師等を対象に研修を実施してきたベテランであり、日本看護協会が募集した「忘れられない看護エピソード」に寄せられた体験談の中から最優秀賞を受賞した作品の朗読なども織り交ぜながら、看護師業務の魅力の再発見や自分では気付きにくい看護師自身の成長についてテンポ良く講義を進めました。

研修後のアンケートには、「これからもハ丈島で頑張りたい」、「看護師の何気ない仕事の一つひとつが、患者さんや家族に大きな影響と感動を与えていることを再確認した」などの記載があり、看護師の定着に寄与できる研修であったことがうかがえました。また、村井邦彦病院長からは島しょ保健所への感謝の言葉がありました。

今後も島しょ保健所では、保健医療従事者の定着に資するような研修を各出張所において開催することを検討しています。

【島しょ保健所】

